

## 「紡 cafe」京都駅前にオープン 観光客と地域を一杯のコーヒーが繋ぐ 相互理解の場として活用

京都市内で不動産売買や宿泊施設の管理運営を行う株式会社レ・コネクション（京都市下京区、代表取締役 奥田久雄）は、2020年8月29日(土)に京都市下京区において施設外玄関帳場(注1)を併設したカフェ「紡 cafe」をオープンいたします。一杯のコーヒーを通してご宿泊のお客様と地域の方が“おいしい”という感覚を共有し、それが相互理解のきっかけになるような場として活用を行ってまいります。



日当たりのいい開放感溢れる店内



3層のコントラストが美しい看板ドリンク「グリーンティー・ラテ・プレス」

### ■一杯のコーヒーを通して、宿泊されるお客様と地域とのタッチポイントに

「紡(つむぎ)cafe」は京都駅から徒歩約5分に位置する本社の1階にオープンします。コンセプトは「旅のはじめに 旅のおわりに 一日のはじめに 一日のおわりに お客様のひとときを紡ぐ」。2020年3月に自社運営の飲食店として開業した「紡 Dining」に次ぐ、「紡」ブランドとして2店舗目となります。また、当社が管理運営する宿泊事業での活用となる施設外玄関帳場を併設し、当社の管理運営する宿泊施設のお客様の総合受付としての機能はもちろん、業務委託による他事業者の受付業務も代行することが可能となっています。観光で京都に来られる方をお迎えする場所に、カフェという地元の方も気軽に利用できる場を併設することで、ご宿泊されるお客様と地元の方のタッチポイントとしての空間を提供して参ります。また出店する地域は、ここ数年大型ホテルや複合施設の建設が進み、更に2023年には京都市立芸術大学の移転が決まっており、今後人の流れが大きく変わっていく展開が期待されています。

### ■伝統×洗練、京都を体現した“ここでしか味わえない”メニュー

伝統と洗練が融合するまち、京都らしさ溢れるオリジナルドリンクが「グリーンティー・ラテ・プレス」(税別650円)です。エスプレッソとミルク、抹茶が3層に分かれ、味はもちろん見た目も美しい当店の看板メニューとなっています。この看板メニューにマッチするように試作を繰り返した「紡ブレンド」は、大阪の人気店である自家焙煎スペシャルティコーヒー専門店「LiLo Coffee Roasters」と共同で開発。当店ではしか飲めない唯一無二のコーヒーです。また、抹茶は創業安政元年の地元京都のお茶屋「ちきりや」のものを贅沢に使用し、他では味わえないクオリティをお楽しみいただける本物志向のオトナのドリンクです。毎日店内で焼き上げる「グリーンティーマールチーズケーキ」(税別350円)は北海道産チーズをたっぷり使用し、濃厚でしっかりとした味わいとなっています。抹茶(緑)とカカオ(茶色)とプレーン(白)の3種類が奏でるマール模様看板ドリンクとのリンクコーデをイメージさせフォトジェニックな印象に仕上げております。

(注1) 施設外玄関帳場…京都市内では2020年4月の条例の改正に伴い、簡易宿所を営業する際には宿泊施設内または施設外に帳場(フロント)を設けることが必要となりました。適正な管理運営を行なっていく上で、施設外玄関帳場の重要性は今後ますます高いものとなります。

## ■店舗概要

店舗名	紡（つむぎ）cafe
オープン日	2020年8月29日(土)
施設概要	延床面積 76.68㎡
営業時間	7:00-19:00(予定)
席数	26席
メニュー	フード約5種類(200円~400円) ドリンク約20種類(~650円)
URL	<a href="https://www.instagram.com/tsumugicafe_kyoto/">https://www.instagram.com/tsumugicafe_kyoto/</a>

## ■会社概要

社名	株式会社レ・コネクション
代表者	代表取締役 奥田 久雄
所在地	京都市下京区東塩小路町 684
電話番号	0120-14-6200 075-352-8600
事業内容	不動産流通業 不動産総合コンサルティング 新築建築・リフォーム 宿泊施設の企画・販売・運営・飲食事業
ホームページ	<a href="https://re-connection.co.jp/">https://re-connection.co.jp/</a>
自社宿泊施設ブランド	「 <sup>つむぎ</sup> 紡」 <a href="https://tsumugi-kyoto.jp/">https://tsumugi-kyoto.jp/</a>

## ■「人を結び 街を紡ぐ」

当社は2016年4月の起業時より「人を結び 街を紡ぐ」をコンセプトに、京町家の保存と再生・活用を通じて京都の未来を紡ぐ担い手となることを目指し、事業に取り組んでいます。伝統的な構法を用いた家屋である「京町家」は築100年以上経つ建物が多く、京都の歴史情緒を感じさせてくれます。しかし、所有者の高齢化やそれに伴う相続問題、加えて独特の形状の間取りのため修繕が難しく、一日に約2軒のペースで「京町家」は取り壊されているのが現状です。また放置されたままの空き家は倒壊の恐れや街の景観を損なうことに繋がり、街としてのブランド価値を下げる要因になりかねません。



2020年7月に移転した京都駅前新オフィス

当社は多くの文化的価値を持つ「京町家」を次の世代に受け継ぐべきものであると考え、外観や内観の趣や意匠をできるだけ残し、一日一組限定の一棟貸し宿泊施設として再生する取り組みを行っております。（現在京都市内で51棟を管理運営）デザインや施工、運営管理、清掃まで一貫してトータルサポート出来ることが当社の強みであり、宿泊していただくゲストには「京町家に泊まる」という特別な体験を、そして地域社会には「街の再生や活性化」という形で貢献していきたいと考えています。時代の流れに沿った整備を行い、人の流れを生むことで街は街として息づきます。わたしたちは受け継がれてきた歴史や文化を次の世代に紡ぐ担い手になりたいと考えています。